



活動の一つは、「キョン」の革の端切れを生かした小物製作です。キョンの革は肌触りが非常に良く、高級な伝統工芸品などの素材として扱われており、実は海外から輸入されています。

いすみ市山田で狩猟体験や革の加工などを行っている「Hunter」の石川さん（元いすみ市地域おこし協力隊）の協力をいいただき、自然素材で染められた革のはぎれで、印鑑ケースやピアスケースなどを製作しています。

地域おこし協力隊の江頭です。私は現在、市内で余っていたり捨てられたいしている資源を活用して、日常で使える様々な小物を作っています。市内にある素材を十分に生かし、「いすみ市の特産品」となるようなものを作ろうと活動しています。

### キョン革を活用



ミツロウ、竹、木等  
余り物も貴重な資源

他にも、みつばちの巣を加工したミツロウで作るキャンドルや、竹や木で作るキャンドルホルダー、お香たてなどを製作しています。

いすみ市でとれた蜂蜜の美味しさと味の種類の多さに驚いて養蜂家さんに話を聞いた際に、「ミツロウ」が余っているというのを伺い、この貴重な資源を活用しながら、

ら、いすみ市の養蜂家さんや蜂蜜の魅力を伝えていきたいと活動を始めた。現在は、市内の余った竹や木でキャンドルを支えるホルダーを作れないかと試行錯誤しています。

また、竹の活用の発展としてお香たても試作中です。今後の状況にもよりますが、朝市やマルシェなどで展示し、その魅力をお伝えする機会を作りたいと思います。

### 写真の説明

- ①地域おこし協力隊江頭桜子さん
- ②キョン革の印鑑ケース
- ③竹製のお香たて（棒タイプ）
- ④木製キャンドルホルダー

（現在改良中のため、写真はイメージです。  
このようなホルダー製作に使える樹木を探しています！）

